

防災公園街区整備事業の事例

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ（東京都三鷹市）

～防災公園の整備と公共施設の機能更新・再編を一体的に実現～

防災性向上

老朽化公共施設更新

市街地：建築敷地の整備、建物整備(受託)

立地を活かした防災公園の整備

一時避難場所に指定されていた青果市場の移転に伴い、その機能を継続するとともに、三鷹市役所や緊急輸送道路等の結節点に隣接する当該地の特性を活かして防災公園を整備しました。

老朽化した公共施設の機能更新・再編

地区周辺の老朽化した複数の公共施設について、機能を維持しながら元気創造プラザと総合スポーツセンターに集約・再編しました。災害時には、災害対策本部等が設置される元気創造プラザと防災公園が一体となって防災拠点を形成するよう計画されています（元気創造プラザの整備は三鷹市から受託。）。

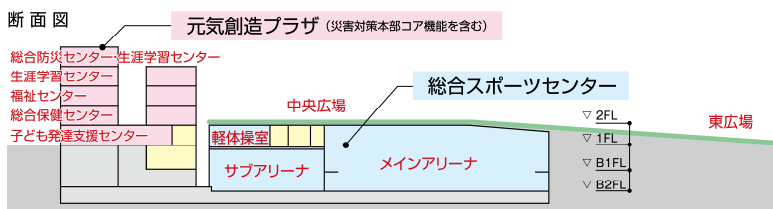


立地特性と整備前の状況

- ・複数の緊急輸送道路等の結節点に隣接
- ・三鷹市役所に隣接
- ・周辺に複数の老朽化公共施設が点在



防災公園整備と老朽化公共施設の機能更新・再編を一体で実施し、防災拠点を形成



災害時の機能転換

機能転換

平常時

災害時

階層	平常時	災害時	
元気創造プラザ	5階	総合防災センター 生涯学習センター	災害対策本部 消防団指揮本部
	4階	生涯学習センター	災害対策本部 (関係機関対応)
	3階	福祉センター	災害ボランティア センター本部
	2階	総合保健センター	災害医療対策実施本部
	1階	子ども発達支援センター	福祉避難所
総合スポーツセンター	アリーナ、武道場、プール等	支援物資の ストックヤード等	
防災公園	憩い、レクリエーションの場	一時避難場所	

防災公園街区整備事業の事例

西ヶ原みんなの公園（東京都北区）

～賃貸住宅、福祉施設、防災公園を一体的に整備～

防災性向上

未利用地活用

市街地：居住環境整備事業

密集市街地の防災性の向上

北区西ヶ原四丁目地区の大学跡地において、賃貸住宅、福祉施設等の整備に併せて、避難場所となる防災公園の整備・道路拡幅を行うことにより、安全で災害に強いまちづくりを推進しました。

隣接施設と一体となって防災機能を発揮

隣接して立地する福祉施設や賃貸住宅敷地内に避難路を確保することにより、災害時に一体となって防災機能を発揮するよう計画されています。



東側外周道路



拡幅後



東西高低差（8m）



高低差を緑地・スロープで処理



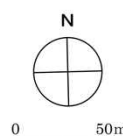
整備後



賃貸住宅



福祉施設



防災公園街区整備事業の事例

内田防災公園（愛知県犬山市）

～観光駐車場、多目的広場、消防署北出張所、防災公園を一体的に整備～

防災性向上

観光まちづくり

市街地：建築敷地の整備

歴史観光まちづくりの推進

災害発生時には防災公園とともに避難場所等として機能する国宝犬山城を訪れる観光客のための駐車場を整備。国宝犬山城を訪れる観光客による渋滞の解消、駐車場の確保という課題を解決しました。

地域の防災性の向上を実現

犬山城の城下町を中心とした地域は、木造建物の割合が高く、火災発生時などに安全に避難できるスペースが十分でない状況でした。災害発生時には避難場所としての機能を持つ防災公園を整備、平常時は市民の憩いや運動の場として親しまれています。



国宝犬山城を訪れる観光客のための駐車場。災害発生時には防災公園とともに避難場所等として機能



マンホールトイレ



平常時は市民の憩いや運動の場として、災害発生時には避難場所としての機能を持つ防災公園



城下町の歴史的風致の維持向上のため、公園内の防災備蓄倉庫（トイレ合築）の屋根や壁面のデザインに留意し、景観形成に配慮

防災公園街区整備事業の事例

岩倉公園（大阪府茨木市）

～市民開放施設、園地の整備を実施、大学と一体となった景観を形成～

防災性向上

未利用地活用

市街地：建築敷地の整備

キャンパスと一体感のある空間形成

防災公園と立命館大キャンパスが融合して境界のない一体的な景観を形成したことで、地域にも開かれ、市民、学生たちの交流が活発に行われています。

避難地となる防災公園と市民開放施設を一体整備

防災公園には避難地・救護活動の拠点として機能する防災関連公園施設を整備し、公共公益施設には、多目的ホールや図書室、研究・産学連携施設のほか備蓄倉庫等の防災機能を有した市民開放施設が整備され、公園と一体として地域の防災・交流拠点となっています。



防災公園、市民開放施設、大学キャンパスが一体となったランドスケープを形成



市街地部分の店舗による賑わい



非常時にテント機能をもつ防災パーゴラ

防災公園街区整備事業の事例

さいたま新都心公園（埼玉県さいたま市）

～環境・景観に配慮した広域防災拠点機能を強化する防災公園の整備～

防災性向上

未利用地活用

市街地：建築敷地の整備

地域の広域防災拠点機能を強化

公園空白地域解消の先導プロジェクトとして、災害時の一時避難地機能を有し、さいたまスーパーアリーナや国の機関との連携によりさいたま新都心の広域防災拠点機能を強化する防災公園を整備しました。

周辺との一体的な整備による良好な景観形成

1.0haの限られた面積の中で、地域に必要な防災機能を兼ねつつ、周辺施設とのデザインの統一や地域植生・在来種を考慮した植栽計画による周辺の緑地・公園と連携したみどりのネットワークの構築など良好な景観形成に努めました。世代を問わず地域に愛されるオープンスペースが確保されている点が評価され、平成30年度全建賞を受賞しています。

（主催：一般社団法人全日本建設技術協会）



地域の方が利用できる多目的スペースを備えた管理棟



開放的で空間的な広がりを感じることができ、平常時は憩いの場として利用されている芝生広場

緊急車両の乗入れが可能で、透水性・保水性機能によるヒートアイランド現象緩和と雨水涵養・貯留に寄与している



隣接する造幣局との舗装デザインの統一による一体的な景観形成



隣接する造幣局にちなんだ硬貨をモチーフとした遊具



災害時には仮設テントとして利用できる防災パーゴラ